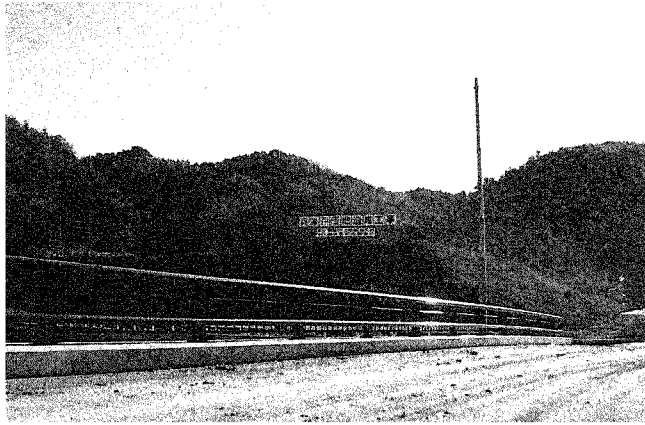


土地利用と都市基盤の整備

市土の大半が山地である本市にとりまして生活基盤整備は重要かつ困難な課題であります。今日まで自然との調和を最優先に荒地、遊休地を調査し、山地の有効利用を図るとともに市内全域に平均化した人口の定住化を促進するためサン地開発事業を推進してまいりました。

現在事業を進めております大幡地内の兵海戸団地につきましては、本年九六区画の確定測量を実施し分譲のための事業を完了し、平成七年度に分譲してまいる予定です。

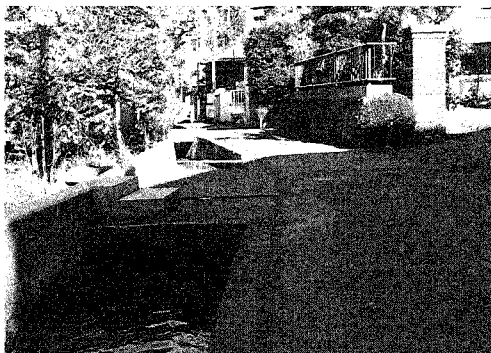


造成中の兵海戸団地

さらに、土地利用の上から土地区画整理事業は本市にとりましても重要な施策であります。田原二丁目地内の田原地区につきましては、すでに昨年予定地六ヘクタールの全体計画に着手したところであり、都留文科大・学前駅予定地周辺の地質調査を終え、今後地権者及び関係機関と協議する中で大学前周辺を他のモデルとなるような「まち」にすべく準備を進めてまいります。また、井倉みとふし地区とともにそれぞれ本年中には区画整理組合として事業が促進できるよう関係機関等に働きかけを行ってまいります。道路網の整備につきましても厳しい自然条件の中ではありますが、機能的かつ安全な道づくりを目指して鋭意取り組んでおります。国道一三九号線都留バイパスにつきましては昨年第一期工事区間の残り四〇〇メートルが完成し、第二期工事区間の玉川から井倉間においても、その計画が実施に向かつて順次進められて来ております。また、中央自動車道都留インターのフルインター化

につきましても県の指導を仰ぐ中で積極的に推進しており、昨年フルインターの概略設計が完成し、早期に国土開発幹線自動車建設審議会の議題となるよう努力してまいります。

河川整備



寺川

さらに中央道側道三橋整備につきましても、柄杓流橋・市町村原代行事業として事業を進めております。また、禾生橋につきましても六年度中にはそれぞれ供用できる予定となっております。

また、道路網の整備とともに河川の整備も緊急の課題であります。谷村本町を流れる河川のうち寺川・中川の増水対策として、文化会館前から谷村第一小学校沿の家の中川まで排水路を新設してまいります。あわせて両河川の一部が家屋等の下を流れており、長年堆積物等の除去も出来ずにおりましたが、その対応の目処がつかしましたので、新年度で実施してまいります。

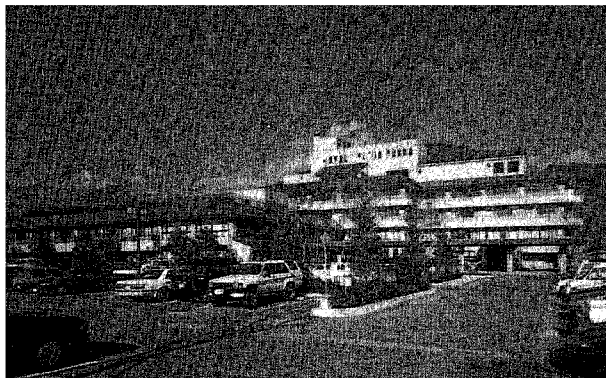
住民福祉と保健・医療の充実

本格的な高齢社会の到来に備え、高齢者や障害者が健康で生きがいを持ち、安心して生活できる環境づくりと、誰でもが住みながら家庭や地域の中で、できる限り自立し、また積極的な社会参加のもとで充実した生活ができるよう在宅福祉サービスの充実、地域住民、ボランティアの活動促進に取り組

んでいく必要があります。このことから、高齢者等の生きがい対策、福祉対策、老人福祉施設の整備など一層の充実を目指して、老人保健福祉計画を策定しているところであります。平成六年度から平成十一年度の六カ年計画でマンパワーの確保及び特別養護老人ホーム、保健福祉

センターのサービスを提供する施設等の整備充実を行い、きめ細かな保健福祉サービスの充実を図ってまいります。

また、市民医療の充実をめざして開設した都留市立病院は、一昨年整形外科、小児科を増科するとともに、昨年五十五床を増床し、四科一五床体制で運営しております。四科一五床体制の一層の充実を図るため、昨年十一月に機能回復訓練のための理学療法室並びに市民から強い要望のある眼科診療施設の建設に着手しております。今後とも、市民の医療に十分対応できる病院として、また、地域医療の拠点にふさわしい保健・医療機関として更に拡充整備を進めてまいります。



市立病院と老人保健施設「つる」